

生涯學習部

(1) 生涯学習部予算のポイント

◆予算編成の考え方、重視した取り組み

- 1 社会状況の変化に対応し、あらゆる市民が利用しやすい図書館をつくるため、2021年度に実施した「デジタルを知る」視点での図書館サービス利用支援に続いて、2022年度は、「デジタルを使う」「デジタルに慣れる」の視点で図書館サービスの利用を支援します。(図書館118ページ)

(2) 6月補正予算 生涯学習部予算総括表

一般会計

(単位:千円)

款	項目	補正前の額	補正額	合計	事業名
10	教育費				
	2 社会教育費				
	1 社会教育総務費	63,551	0	63,551	
	3 自由民権資料館費	11,430	0	11,430	
	6 生涯学習センター費	118,857	0	118,857	
	7 図書館費	502,122	12,036	514,158	中央図書館費
	8 文学館費	35,621	0	35,621	
	合計	731,581	12,036	743,617	

※職員人件費、会計年度任用職員人件費は除いています。

生涯学習部予算(一般会計)財源内訳

(単位:千円)

	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
補正前の額	731,581	11,900	17,166	0	25,023	677,492
補正額	12,036	0	12,618	0	391	△ 973
合計	743,617	11,900	29,784	0	25,414	676,519

(3) 事業の説明

一般会計		款 10	項 2	目 7	図書館費	
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
6月補正	12,036	0	12,618	0	0	△ 582
担当 図書館		予算書 25 ページ				
○事業の内容						
新規	① デジタル端末の基本的な操作などを相談できるデジタル端末操作支援員の配置、デジタル端末を持っていない方に向けたタブレット端末の館内貸出を、中央図書館で実施します。図書館という身近な拠点で、きめ細やかにデジタルデバインド解消の取組を行います。					
新規	② デジタルサービスに親しみ、暮らしに合わせた図書館サービスを提供するため、図書館へ来館しなくても24時間365日利用することができる電子書籍サービスを導入します。多くの方が日常的に利用する図書館サービスの一部をデジタル化し、市民がデジタルサービスに慣れていくことで、他のデジタルサービスの利用にもつなげます。					
○2022年度6月補正における取り組み						
新規	① デジタル端末の基本的な操作などの支援を行う操作支援員を中央図書館に配置します。また、タブレット端末を調達し、デジタル端末を持っていない方に向けて中央図書館で貸出を行います。					
新規	② 24時間365日利用することができる電子書籍サービスを導入します。					
事業費	①	システム導入委託料(タブレット端末導入)				515千円
		研修・講座等委託料(デジタル端末利用支援業務)				411千円
	②	システム使用料(電子書籍コンテンツ、電子書籍システム)				10,010千円
		システム導入委託料(電子書籍導入)				1,100千円
特定財源	①②	子ども・長寿・居場所区市町村包括補助金(都)				12,618千円